



山口情報芸術センター プレスリリース

オペラシアターこんにゃく座

オペラ「口はロボットの口」

「初めまして、ぼく、パン製造ロボットRKJ502A001です。
空は飛ばません。」

こどもたちと

こどもだったおかあさんとおとうさんと
こどもだったすべてのおとなたちに贈る
笑いと涙のメルヘンオペラ

日時：2004年3月22日(月) 19:00開演
24日(水) 14:00開演

※各30分前開場

※23日(火)はお休みいただきます

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：A席3,000円 A席割引2,000円
A席子供（小学生以下）1,000円 B席1,000円
※A席割引は、エニー会員、青少年（18歳未満）、
シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。
※未就学児童の入場可。

作曲：萩京子

台本・演出：鄭義信

出演：オペラシアターこんにゃく座歌役者

主催：財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

企画制作：山口情報芸術センター

チケット予約：

YCAMチケット予約専用電話 TEL:083-920-6111
(10:00～19:00 休館日を除く)

ローソンチケット 電話予約番号:0570-06-3006
Lコード:62774

●口はロボットの口のみどころのみ

舞台が明るくなると、四方八方から「ギイ、ガチャガチャ」と音がして、ロボットたちが現われます。ここはウエストランド。オペラ『口はロボットの口』の幕開きです。

パン製造ロボット、テトのたったひとつだけ得意なこと、それはパンを作ること。ところがそのパン作りがどうもうまくいかなくなってきました。テトは、自分を作ったドリトル博士に直してもらうため、イーストランドをめざして旅に出ます。

自分にとっていちばんたいせつなことはなんなのか、テトといっしょに考えてみませんか。オペラ『口はロボットの口』は、音楽でお話が進んでいきます。楽しい歌がたくさんあります。思わず口ずさみたくなる歌も。それから歌が会話になっているところもあれば、合唱もあります。ロボットたちの不思議なダンスもあります。8人の出演者が30人以上の役を演じます。1台のピアノがオーケストラに負けないくらい、いろいろな音を出して、登場人物の嬉しさや悲しさや悔しさ、そして喜びを表現します。

スピーディーな場面展開、とてもコンパクトにしてダイナミック。オペラのさまざまな要素がみんな入っています。そして、とても懐かしい気持ちにさせてくれるオペラです。

初演時に東京都教育委員会優秀賞、日本演劇協会賞、都民演劇賞受賞。春休み、子供たちと一緒に笑い、弾け、歌いませんか。

●アンケート&公演評

- ・やさしい心が一番だと思いました。人を好きになるのは、とてもすばらしいと思いました。(小学6年)
- ・こどもたちも、耳に残った歌やセリフを帰り道、ずっと歌い、言い合ったりしています。ただの笑いではなく、考えさせられるテーマもあり、役者さん達の迫力ある演技も素敵でした。(小学校教諭)
- ・30過ぎの大人の男が、最後の方では、泣くのをこらえるのに苦労していました。こんなことは普段はないのです。(会社員)
- ・楽しい作品でした。ちょっと哲学的だったり、ロマンチックだったり、照れくさいセリフも歌だととても素敵なんですね。(主婦)
- ・休憩をはさんで二時間の上演時間の間、客席を飽きさせることがない。子どもたちが目を輝かせながら見入る様子、そしてその父母たちが時にお腹を抱えて笑う様子、そうした情景がこの上演の成功を端的に象徴していた。(音楽舞踊新聞)
- ・子供も楽しめる展開になっているが、おとなへの示唆も多々内包させている作品である。(音楽の友)